

新医学系指针对応「情報公開文書」フォーム

単施設研究用

以下、本文-----

当院 PICU で脳死とされうる状態と診断された症例の転帰：単施設記述的研究

1. 研究の対象

2016 年 2 月 1 日から 2025 年 8 月 31 日に当院 PICU へ入室し、脳死とされうる状態と診断された方

2. 研究目的・方法・研究期間

目的

終末期の定義は非常に困難です。少なくとも脳死とされうる状態は人生の終末像であることが多いと考えられますが、その後の方針決定には非常に慎重な議論を必要とします。選択肢として、生命維持治療の中止や差し控え、臓器提供、近い未来での死を前提にした在宅（気管切開術が必要）があげられます。

日本で、脳死とされうる状態の方がその後どのような選択肢をとったかの報告は限られており、当院 PICU での脳死とされうる状態の方の転帰について記述する。

方法

対象は、2016 年 2 月 1 日から 2025 年 8 月 31 日に当院 PICU へ入室し、脳死とされうる状態と診断された方について後方視的にカルテ調査を行います。

PICU 退室時の転帰や月齢、重症度、選択肢提示から意思決定までの期間、などについて評価する。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢、重症度、疾患名、元々の神経学的機能、転帰 等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、
研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

あいち小児保健医療総合センター

部署名 集中治療科

研究責任者名 和田 翔

〒474-8710 愛知県大府市森岡町七丁目 426 番地

電話 0562-43-0500（代表）FAX 0562-43-0513

-----以上